



新型コロナ対応特集	4~5
情報開示特集	6~11
研修報告・研修計画／事業報告・事業計画 地域貢献活動報告／元年度決算・2年度予算	

巻頭言／コロナ禍を一つの災害と見立て、 福祉施設間の連携・助け合いシステムづくりに期待	2
新型コロナに対応しBCP(事業継続計画)を見直し せつ桜苑	3
“人工筋肉”など介護ロボット、現場に導入 岩戸ホーム	3
摂津市と連携、6月から「発達検査」可能に ココリス	3
ゴミ収集、ありがとう! 絵やお手紙でお礼 認定こども園正雀愛育園5歳児	4
ご家族とご利用者つなぐWEB面会 ライフ・ステージ 舞夢・吹田竜ヶ池ホーム	5
法人設立70周年迎え「オンリーワン目標の達成を!」 保育部門幹部研修会	6
ベトナム人実習生、評価試験(初級)に全員合格 岩戸ホーム・サンヒルズ紫豊館	7
トピックス	12

2020 夏号

ブログで介護スタッフの素顔をリレー紹介

高槻けやきの郷では5月から、HP(ブログ:現場のストーリー通信)でスタッフのプロフィールやインタビュー、ご利用者と接している様子など、管理職層から順にリレー方式で紹介しています。介護の仕事の魅力を発信する試みです。

「所属する部署の魅力は?」のインタビューでは「笑顔で楽しくスタッフが働けるところ。だからこそ、ご利用者にとっても安心できる居心地の良い場所(係長)」といった介護現場で働くスタッフのナマの声をお届けしています。

各部署のブログも毎月更新していますので、「高槻けやきの郷」で検索を!

【プロフィール】
 氏名: Y・Y
 入社年: 2004年
 所属部署: 短期入所生活介護
 趣味: 旅行・ショッピング・好きなスポーツ: 特になし
 好きな食べ物: ヨーグルト・嫌いな食べ物: 特になし

【インタビュー】
 Q1.あなたが現在の仕事を選んだきっかけは?
 A.子供が小学生になり、パートで働くことを考えていた頃に、自宅近くからなかったが、介護の仕事の魅力があり、自宅から近いとい

マラソン(2km)大会で全員完走!!



認定こども園一律屋愛育園の5歳児(28名)は2月25日、園近郊の摂津市立味生小学校校庭で「マラソン大会」を行いました。秋の運動会後から園庭で毎日少しずつ距離を延ばし練習を重ねた結果、見事全員が目標の2kmを完走しました。1位は9分35秒。表彰式のメダルと賞状授与に子どもたちは誇らしげでした。目標を成し遂げた全員の子どもの姿に保育スタッフは拍手で称え、4月からの小学校でのすこやかな成長を心から祈りました。

- 【法人理念】**
 1. 個人の尊厳を旨として、その人にふさわしい最善のサービスの提供に努める。
 2. 地域に開かれ、愛され、地域福祉の拠点となる施設経営を目指す。
 3. 専門的知識、技術の研鑽に努め、誇れる施設を目指す。
- 【サービス目標】**
 1. オンリーワンとナンバーワンを目指す。
 2. オンリーワンとはその施設にしかない特色の創造であり、ナンバーワンとはご利用者の処遇の満足度を高めるため、常時積極的な取り組みをすることである。
- 【老人施設経営方針】**
 1. 安らぎのある生活と環境を提供し、生きる喜びを創造する。
 2. 介護機能の多様化を図り、ご利用者に対し、総合的なサービスの提供をする。
 3. 地域の一員として、地域福祉の活性化に貢献し、超高齢社会のセーフティーネットの機能を発揮する。
- 【愛育園経営方針】**
 1. 新しい時代に生きる力の基礎を培う。
 2. 女性の社会参加の支援に貢献する。
 3. 地域子育て支援を積極的に行い、子どもの成長を喜ぶ社会の実現に寄与する。

【発行日】2020年7月
【発行】社会福祉法人 成光苑 (理事長 高岡 國士)
〒566-0001 大阪府摂津市千里丘3丁目16-7
TEL.06-6330-3776 FAX.06-6388-9551
URL. http://www.onyx.dti.ne.jp/~seikouen/

★「ききょう」の由来
創業者が愛した京都府福知山市は、冷泉を利用して地元に開放するお風呂を作り、当法人として老人施設を初めて開設した地。その福知山市の花である「桔梗」から名づけられました。「ききょう」の花言葉は「変わらぬ愛」「誠実」「感謝」「気品」。



隣接跡地に園庭を拡張 園児の安全祈願し地鎮祭



第二愛育園・きりん夜間愛育園は4月15日、隣接している鉄工所跡地の地鎮祭を執り行い、園庭を拡張(243.14㎡)しました。高岡國士理事長が祭事を進められ、両園の園児たちはいわゆるソーシャルディスタンス(社会的距離)を保ちつつ参加、三角形の“盛り塩(清め)”を不思議そうに眺める光景も見られました。高岡理事長は「園児らにケガなく元気に遊ぶことができますように」と安全祈願されました。

地域奉仕作業の草刈りにスタッフ派遣

サンヒルズ紫豊館は恒例の上豊富地域奉仕作業の草刈りに参加しました。奉仕作業は畑中地区地域の公園(6月4日)、京都府内の溜池で貯水量最大規模の奥榎原地区豊富用水池(6月20日)に同施設からスタッフを各3名派遣しました。例年炎天下の作業となるところですが、両日とも穏やかな天候のうえ、懸念された新型コロナの影響も福知山市内の感染者が少なく実施することができたことは幸いでした。地域の方と交流を図るためにも継続的に協力したいと考えています。



巻頭言



コロナ禍を一つの災害と見立て、
福祉施設間の連携・助け合いシステムづくりに期待

理事長 高岡 國士

日ごろから社会福祉法人成光苑の事業推進にあり、皆様の多大なご協力とお力添えをいただき感謝とお礼を申し上げます。

社会機能の維持に貢献する福祉施設

新型コロナウイルス感染症が国内外を問わず、パンデミック(世界的大流行)の猛威を振るっています。今後の感染拡大ペースや終息時期も不透明なため、リーマンショックを上回る経済への影響が懸念されています。

病院をはじめ医療関係者の新型コロナウイルス感染症患者に対する献身的な姿は、日本はもとより世界中で賛辞が鳴りやみません。学校は休校になり、就学前教育の保育施設、幼稚園は休園や登園自粛の措置が取られました。医療機関や人々の生活を支える仕事に従事する保護者を支え、また、セーフティネットとして養育に支援が必要な家庭の子どもの受け入れは継続されなければならず、保育所などが必要不可欠な役割を担っているところであります。

このことは全国の介護、保育に関わる社会福祉施設従事者の貢献を抜きには考えられないことです。大阪府の緊急事態措置の中でも、新型インフルエンザ等対策特別措置法(第24条9項)により、基本的に休止を要請しない施設として社会福祉施設などが対象となり、社会機能の維持に貢献することになったわけですから。

コロナ禍発生以来一人の感染者も出さず幸いにして、昨年12月以降に「新型コロナウイルスに関連した肺炎」として国内で患者の発生が報告されて以来今日に至るまで、法人内で一人の感染者も出さずに運営してこられたことについて、保育高齢障がい部門のすべての関係スタッフに心から感謝したいと思います。

今後、コロナ禍は第二波、第三波の感染拡大が考えられることから、その備えについて、この夏、秋の間に十分に協議調整し、対策を講じることが是非とも必要と考えています。

コロナ禍により、社会生活を維持する上で必要の人材としての支え手が求められています。介護と育児を一人が担うダブルケア問題に象徴されるように、その方々の就労が阻害されないよう支え手の「支え手」が必要です。その担い手として社会福祉法人が複雑多様化する福祉ニーズに対応すべきと考えます。

全ての住民が活躍できる
コミュニティ育成のお手伝いを

政府は社会福祉法人が連携して地域課題に取り組む「社会福祉連携推進法人制度」の創設を令和2年の社会福祉法改正の大きな柱の一つとして打ち出し、令和5年施行を目的に措置が講じられる予定です。子ども、高齢者障がい者など地域にお住まいのすべての住民が役割を持ち、支え合いながら

自分らしく活躍できるコミュニティを育成するお手伝いを、社会福祉法人が担うべきであると考えます。また、社会福祉法人間の連携方策の中に、災害対応に係る連携体制の整備が盛り込まれており、大阪では今年3月、災害時に福祉専門職が避難所で高齢者や障がい者らの支援を行う大阪DWAATが発足、255人の介護福祉士や社会福祉士が登録されています。大阪府社会福祉協議会施設正副部会長会議では、福祉施設間で職員を補助し合いシステムづくりに乗り出したところで、コロナ禍を一つの災害と見立て、大阪DWAATの機能が活用できる体制も含め、今後期待が持てることです。

必要な時、必要な福祉サービスの提供が法人の基本理念

自然の災害や制度改定など私たちを取り巻く社会、生活環境はめまぐるしく変化しています。成光苑の取り組みに関わるすべての老若男女に対し、その人に必要なとき、必要なものを必要に応じて、介護や保育などの福祉サービスを提供し続けることが成光苑の基本理念にも通じることとなります。

これらも様々な場面に遭遇することになるとありますが、成光苑のそれぞれの部門で真摯にその役割と責務を積極的に果たすことで、法人として一丸となり、さらに精進してまいりたいと考えておりますので、スタッフをはじめ関係者の皆様には今後とも変わらぬご支援ご協力をよろしくお願い致します。

令和元年度 決算報告

【資金収支計算書】

(自)平成31年4月1日 (至)令和2年3月31日 単位:百万円

勘定科目	本部	保育園	高齢者施設	公益事業	内部消去	合計	
事業活動収支	収入	11	1,343	3,603	144	△2	5,099
	支出	59	1,149	3,228	87	△2	4,521
事業活動資金収支差額	△48	193	375	58	0	578	
施設整備等収支	収入	0	0	50	0	0	50
	支出	1	43	525	43	0	612
施設整備等資金収支差額	△1	△43	△474	△43	0	△561	
その他の活動収支	収入	87	23	410	13	△325	208
	支出	50	174	291	23	△325	213
その他の活動資金収支差額	37	△151	119	△10	0	△4	
当期資金収支差額合計	△12	△1	20	5	0	13	
前期末支払資金残高	333	211	1,695	51	0	2,289	
当期末支払資金残高	321	209	1,715	56	0	2,302	

(保育園は認定こども園を含む)
(高齢者施設は障がいを含む)

【事業活動収支計算書】

(自)平成31年4月1日 (至)令和2年3月31日 単位:百万円

勘定科目	本部	保育園	高齢者施設	公益事業	内部消去	合計	
サービス活動収支	収益	2	1,292	3,582	135	0	5,011
	費用	44	1,184	3,457	121	△2	4,804
サービス活動増減差額	△42	109	125	14	2	207	
サービス活動外収支	収益	10	51	21	10	△2	90
	費用	19	15	23	6	0	63
サービス活動外収支差額	△9	36	△2	4	△2	27	
経常増減差額	△52	145	123	18	0	234	
特別収支	収益	87	15	267	0	△319	50
	費用	0	60	309	7	△319	57
特別増減差額	87	△45	△42	△7	0	△7	
当期活動増減差額合計	35	100	81	11	0	227	
前期繰越活動収支差額	509	789	3,925	35	0	5,258	
その他の積立金取崩額	0	6	181	0	0	187	
その他の積立金積立額	50	115	0	0	0	165	
次期繰越活動収支差額	494	780	4,187	46	0	5,508	

(保育園は認定こども園を含む)
(高齢者施設は障がいを含む)

【貸借対照表】 成光苑全施設 (社会福祉事業・公益事業)

令和2年3月31日現在

単位:百万円

勘定科目		勘定科目	
科目	金額	科目	金額
流動資産	2,776	流動負債	878
		うち1年以内借入金・賞与引当金	405
固定資産(基本財産)	6,528	固定負債	2,186
その他の固定資産	3,528	負債合計	3,064
		純資産の部	
		基本金	609
		国庫補助金等特別積立金	2,615
		その他の積立金	1,036
		次期繰越活動収支差額	5,508
資産合計	12,832	純資産合計	9,768

成光苑事業区分

●社会福祉事業 (本部)

本部、地域貢献事業 (保育事業)
千里丘愛育園、第二愛育園、正雀愛育園、一津屋愛育園
くろみ愛育園、くろみ小規模保育園、きりん夜間愛育園
東生野愛育園

(介護事業)

岩戸ホーム、サンヒルズ紫豊館、せつ桜苑
高槻けやきの郷、吹田竜ヶ池ホーム、ライフ・ステージ 舞夢
ライフ・ステージ 夢咲、厚デイサービスセンター
きりんデイサービスセンター、きりんヘルパーステーション
加佐デイサービスセンター、寿みのりの郷デイサービスセンター
デイ・ホーム 和夢

(障がい福祉事業)

ココリス
高優賃 竜ヶ池ハウス、サ高住 けやきの郷、岩戸診療所
桜苑診療所、けやき診療所、竜ヶ池診療所

●公益事業

令和2年度 資金収支予算

【資金収支計算書】

成光苑全施設 (社会福祉事業・公益事業)

単位:百万円

勘定科目	本部	保育園	高齢者施設	公益事業	内部消去	合計	
事業活動収支	収入	8	1,271	3,658	144	△2	5,079
	支出	37	1,116	3,343	93	△2	4,587
事業活動資金収支差額	△29	155	315	51	0	492	
施設整備等収支	収入	0	0	0	0	0	0
	支出	2	32	403	39	0	476
施設整備等資金収支差額	△2	△32	△403	△39	0	△476	
その他の活動収支	収入	66	7	359	3	△306	129
	支出	30	75	258	10	△306	67
その他の活動資金収支差額	36	△68	101	△7	0	62	
予備費	0	55	0	0	0	55	
当期資金収支差額合計	5	0	13	5	0	23	
前期末支払資金残高	327	211	1,722	57	0	2,317	
当期末支払資金残高	332	211	1,735	62	0	2,340	

(保育園は認定こども園を含む)
(高齢者施設は障がいを含む)

令和元年度 地域貢献活動報告

【協力雇用主制度による雇用主登録】
【府災害派遣福祉チームの新規養成】
【「こども食堂」開き子どもの居場所作り】
【ベトナム人留学生・技能実習生の受入】

【長期連休に保育が必要な子ども受入】
【親子教室で年齢に応じ遊び提供】
【保護者向け健康情報を無料配布】
【多国籍の子ども・保護者の交流支援】

高齢者部門 ※一部生活介護含む	保育部門 ※一部児童発達支援含む
【地域に焦点を当てた事業展開】	
<ul style="list-style-type: none"> 交通弱者の移動支援の取り組み(過疎地域有償運送)の運行(4往復/日) 延べ利用者数: 1742名(地域利用830名) 福祉有償運送(移動困難者に対して安価での移動支援)の運用 地域行事への積極的な参加及び地域との共催による行事の実施(夏祭り、イルミネーション事業等) 地域高齢者の居場所づくり(クラフト教室、映画鑑賞会、健康体操教室等) リハビリ機器を利用した訓練の訓練の実施等施設資源の開放 地産地消の取り組み 地域交流スペースの開放や喫茶等の運営 地域と協働し施設敷地内での野菜栽培、収穫、販売等 車椅子や施設用品等の貸し出し 	<ul style="list-style-type: none"> 親子教室での年齢に応じた遊びの提供(製作、リズム、絵本の読み聞かせ等) 各園の保育室、園庭、プール、絵本室等の開放、絵本の貸出 地域の親子で結成するサークル活動支援として場所の開放 近隣の公園や公民館、小学校等での地域の親子への遊びの提供、イベント開催 園の季節の行事への招待及び地域の親子を対象とした独自のイベント開催 赤ちゃんの駅(おむつ替えや授乳ができる施設)の登録 地域が主催するイベントへの参画(和太鼓演奏・手作り玩具の出展等)
【地域における福祉推進】	
<ul style="list-style-type: none"> 施設における地域の総合相談窓口の設置及びその周知 認知症あんしんサポート相談窓口、認知症カフェ等開設 相談援助活動へのスタッフ派遣及び介護相談会の実施 介護職員初任者研修事業の講師派遣 地域住民に対する介護技術等勉強会の開催 外部主催の認知症サポーター養成研修をはじめとする認知症関連研修への講師派遣 介護予防教室の実施(農閑期の閉じこもり防止等) 地域ボランティアの積極的な受入及び交流会等の実施 学校訪問授業として認知症サポーターキッズ養成講座の開講 子ども福祉ボランティアの育成講座の実施 次世代育成のための小中学生の職場体験及び社会福祉体験学習等の受入 子ども110番運動への参画 介護、看護、相談援助等の専門職実習生の受入 子どもの安心できる居場所作り、福祉教育の場として「子ども食堂」を開催(延べ参加児童数110名) 	<ul style="list-style-type: none"> 育児相談の一環として地域の保護者向けに、子どもの健康やふれあい遊び、絵本に関する情報を掲載した通信を自主作成し無料配布 育児相談員およびスマイルサポーター(大阪府知事認定)による育児相談窓口の設置(来所・電話等) 保育士等による専門性を活かした講座の開催 校区福祉委員会主催の子育てサロンへのスタッフ派遣 地域の子育て支援担当者間の情報交換会への参画 一人暮らし高齢者宅の訪問(七夕飾り等の寄贈) 次世代育成としての小中学生の職場体験や高校生インターンシップの受入 保育士養成校からの保育士養成実習の受入 地域ボランティアの積極的な受入
【社会的援護を要する人々への支援】	
<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者自立支援法に基づく中間的就労の受入(2名) 協力雇用主制度による刑務所出所者の雇用に向けた体制整備(協力雇用主として登録) 社会福祉法人等利用者負担軽減制度、特別地域加算減免事業の実施 通所サービスの時間外での受入、食費負担軽減 地域の高齢者からの通報への対応(24時間365日) 虐待・DV避難ケース等の緊急受入体制の整備 日本財団「夢の貯金箱」(自動販売機の飲料売り上げのうち10 	<ul style="list-style-type: none"> 円を寄付)の全施設設置 大阪しあわせネットワークへの参画・基金への拠出及び大阪全施設にCSWを配置。 生活困窮者等に対する相談支援事業及びCSWの配置・養成 京都地域福祉創生事業「わかプロジェクト」への参画(基金への拠出等) 障がい者雇用の促進及び職場体験実習の積極的な受入(関連機関とのサポートカンファレンスの実施) 特別支援学校の夢の貯金箱)の参画
【国際交流】	
<ul style="list-style-type: none"> 地域の在日外国人(フィリピン、中国)の雇用及び体制整備 雇用する在日外国人スタッフへの日本語勉強会(つぼみの会)等を毎月実施 グローバル介護職員初任者研修の開催 介護技能実習制度の導入に当たり関連機関との情報共有等 ベトナム人留学生・技能実習生の受入・育成体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 多国籍の子ども・保護者とのコミュニケーション支援 異文化交流を目的とした近隣の小学校等との連携
【地域団体などとの連携の取り組み】	
<ul style="list-style-type: none"> 市、市医師会等と連携し地域包括ケアシステムの構築(地域ケア会議への参画等) 地区の福祉推進協議会や施設事業者連絡協議会等への参加による地域連携強化・スタッフ派遣、イベントへの参画 地区の福祉推進協議会や地域貢献委員会等への参画 校区のPTAとの協働、自治会活動へのスタッフ派遣 ボランティア団体との懇親会の開催 地域の障害者施設による食品等の訪問販売(販売場所の提供) 日本赤十字の企業献血への協力推進 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の老人会・民生委員・主任児童委員・自治会長等との連携(交流会の開催等) 中学校区における地域教育協議会への参加 小学校地区における関係団体との連携した行事の開催 市の保健師と連携し、講座の開催や地域の児童の身体測定等の実施
【災害支援・環境対策】	
<ul style="list-style-type: none"> 自治会等地域との総合防災訓練の実施、防災協定の締結 台風15・19号に係る義援金の寄付(全国社会福祉協議会 全国社会福祉協議会施設協議会連合会 合計432,000円) 5法人間での防災協定の締結 地域の福祉避難所としての指定、防災倉庫の設置等災害発生時のネットワークの構築 厨房委託業者との災害支援協力体制整備 京都府災害派遣福祉チーム員として京都府災害時要配慮者避難支援センターの活動への参画 大阪府災害派遣福祉チーム員の新規養成(7名) 一人暮らし高齢者宅の防火訪問 地域の除雪作業の支援 グリーンカーテンの栽培、涼やかスポットの設置等 	<ul style="list-style-type: none"> 5法人間での防災協定の締結 台風15・19号に係る義援金の寄付(全国私立保育園連盟:300,000円) 近隣の草抜き・清掃活動への参加 牛乳パック、ベルマーク、エコキャップ運動の実施 グリーンカーテンの栽培 全園における節電活動 エコ育の更なる充実 日本赤十字共同募金への募金
【独自の取り組み】	
<ul style="list-style-type: none"> 京都府高齢者あんしんサポートハウス(低所得者に対応した家賃設定)の運営 地域の空家の高齢者の住まいとして活用に係る体制構築 外国人介護人材発掘のための関連機関との検討会等の実施 配食サービスの提供および安否確認 介護保険外での一人暮らしの高齢者への支援(緊急通院の付添、家事援助等) 	<ul style="list-style-type: none"> 365日型(日曜・祝日保育、年末年始)保育が実施できる体制の構築 地域の待機児解消に向けた事業展開の検討(増築等による定員増) 保護者支援として4~5月の10連休中に保育を必要とする子どもの受入

せつつ桜苑 新型コロナウイルスに対応 BCP(事業継続計画)を見直し 医療物品の調達やフローチャートの作成、スタッフの支援体制など

せつつ桜苑は大正川(級河川)の川沿いに立地しており、水害を想定したBCP(※注)を作成していますが、新型コロナウイルス感染症を機に、その対応策を含め見直しを行いました。

施設内の新型コロナウイルス感染を防止するのは、今までありませんが、万一陽性者が出た場合に備え、作業の流れや連絡のフローチャートを作成、消毒や防護服、医療物品(ガーゲルベース、マスクなど)の調達、福祉避難所

の要援護者受け入れ数の検討、スタッフの支援体制など緊急課題は多岐にわたります。

あらゆる場面を想定し、迅速に対応できるように施設一丸となつてしっかり備えたいと考えています。

※注「Business Continuity Plan」(事業継続計画)の頭文字。緊急事態発生により重要な事業がストップしないよう、また、ストップしても被害を最小限にとどめるよう取り決めておく計画のことです。

6月から「発達検査」が可能に

ココリス(児童発達支援・放課後等デイサービス)は、6月中旬から発達検査(※注)を行うことが可能となりました。摂津市(出産育児課・家庭児童相談課)とも連携、地域の障がい福祉サービスの充実が期待されます。発達検査は心理検査の一種で、主に乳幼児や小学生の発達段階を調べ今後の関わりに生かすため利用されています。

同事業所では、事前に保護者から子どもの心配なこと、気になることなどを聞かせてもらい、発達検査の結果と照らし合わせ総合的に判断します。検査ですべてが分かるわけではありませんが、子どもの特徴や得意なこと、苦手なことを踏まえたアドバイスが可能です。発達検査では馴染みが薄い専門用語もありますので、分かりやすく具体的にお伝えするよう心がけています。お子さまのことでご相談がありましたらお気軽にご連絡ください。

(☎06-4862-5922 重村、保田、東川)

※注<新版K式発達検査>①姿勢・運動(体全体の機能の発達)面、②認知・適応(目で見えて判断する力や手先の動きの発達)面、③言語・社会(人と言葉でやり取りする力の発達)面の検査項目3つの領域から全体的な発達をみていきます。

敷地造成工事始まる

これに伴い、昨年11月から3回にわたりオープンングスタッフ就職説明会を開催するなどスタッフ募集を進めています。すでに20名を超える新規採用が見込まれています。新型コロナウイルス

新規ケアスタッフ(障がい・高齢)募集中!

お問い合わせ・連絡先
「ライフ・ステージ・夢咲」開設準備室
(ライフ・ステージ・舞夢内)
担当: 山本・小林
電話: 0773-83-0221
メール: mainmu@iris.com.ne.jp

介護ロボット 現場に導入



業務改善委員会メンバーが業者からデモ機をレンタルし操作方法を学ぶ一方、他のスタッフに伝授し、今では「力のいる支援でも以前より落ち着いてケアできるようになった」という声が多く聞かれます。

眠りスキャンは、ベッド上のご利用者の睡眠、覚醒、呼吸数のほか起き上がり、離床などの情報をリアルタイムにモニタリングする見守り支援システムです。ご利用者の状態を詳しく観察できるようになりました。今後、介護ロボットの有効活用によるケアの幅を広げていきたいと考えています。

- 岩戸ホーム
- 人工筋肉「マッスルスーツ」
- 見守り支援「眠りスキャン」

特別インタビュー

大学休講ムダにせず 千里丘愛育園でアルバイト



目標の保育士めざす
K大4年、M・Mさん

新型コロナ禍は、就職活動にも大きな影響を与えました。が、休講を生かし、しっかりと目標を持ってアルバイトをされている学生さんを紹介いたします。K大学4年生のM・Mさん、千里丘愛育園でアルバイトをされています。

「千里丘愛育園をご存知でしたか？
中学時代から知っていました。通りがかりに「保育園があるなあ」という感覚で。」

「アルバイトのきっかけを教えてください」
飲食店でアルバイトをしていましたが、保育者になるのが目標で、たまたま園庭フェンスに学生アルバイト募集の掲示板(写真)が目に入り、4月下旬に千里丘愛育園に電話しました。新型コロナ禍で大学は休講、時間をムダにしたくなかったので、5月上旬から週2回アルバイトをしています。

「子どもの笑顔を引き出す仕事に感動」
園や保育スタッフの雰囲気はいいかが？
担当クラスの担任が丁寧でフォローしてくださる子どもたちとの関わり方も学んでいます。どの先生も分け隔てなく話しかけてくれ嬉しです。

「保育者を目指す契機となったのは？」
中学生時代、保育園で職場体験をした時、子どもの笑顔を引出す保育の仕事に感動したのがきっかけです。

「将来、どんな保育者になりたい？」
たくさんの子どもの笑顔を引出すために多彩な保育が展開できるようにしたいです。公立保育園(公務員)は私にとつて高いハードルと理解していますが、現在チャレンジ中です。

「本格的な就活はこれから」
「コロナ禍を受け就活事情は？」
4月中旬から登校禁止でWEB授業になり、大学に送付されてくる求人情報も確認できませんでした。6月上旬からようやく一部学生が面接指導のため大学構内に出入りできるようになりましたが、その都度身分証のチェックが行われます。これから本格的な就職活動開始という学生(卒業年次生)がほとんどだと思います。



認定こども園正雀愛育園
「お礼に絵やお紙を書きました」
かわいいをありがとう、ぎょうにゆうをたくさんのおおきくなってね!

認定こども園正雀愛育園のひばり組園児(5歳児28名)は5月23日、同園の廃棄物収集や給食材料の運搬業者の方にお礼の絵と手紙を渡しました。新型コロナ禍による緊急事態宣言下でも、ゴミ収集や給食材料をいつもと変わらずに運んでもらっているみなさんへの園児の感謝の気持ちです。制作中は「喜んでもらえるかな」と会話も楽しみながら、収集車や給食の様子を描きました。業者の方からは「ありがとう。工場に飾らせてもらいます」という言葉や給食材料の方からはメッセージポスターが届き、園児たちの喜びもひとしおでした。

「ありがとうございます」
ゴミ収集や給食材料運搬

きりん夜間愛育園

登園自粛中の園児には 体操など動画を配信



きりん夜間愛育園は新型コロナウイルスによる感染拡大防止のため4月16日から、保護者のみなさんに登園自粛(4月16日)を要請し、園児の送迎対応は園の玄関先で行うことになりました。それに伴い健康観察カードを作成し各家庭に配布(HP添付含む)、同カードのチェック項目に検温などもお願ひし、園児とご家族の新型コロナ対策への意識を高めていただくことにも配慮しました。

登園自粛中の園児向けには、体操やパネルシアターなどオンライン動画を配信(5月11日~20日)、「馴染みの先生の元気な動画で安心できた」などと親子で楽しんでもらい好評でした。

健康観察カードをご家庭に配布



小学5、6年生の健康委員が園児と“健康交流”

東生野愛育園

東生野愛育園に2月3日、大阪市立東中川小学校5・6年生の12名の健康委員が来園、「健康」をテーマに劇やクイズ、歌などを交え楽しく交流(幼児対象)しました。今年「風邪予防と手洗い」がメインテーマ。予防への意識やうがい、手洗いの大切さなど、園児にも馴染みのあるお面を付け

令和2年度 事業計画 持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に寄与し、効果的、効率的な事業展開にも即時対応する

1. 確実、効果的かつ適正な事業経営

- (1) 財務管理の体制強化(経営状況の把握、分析)
 - ① 経営企画会議の運営
法人全体の事業の経営状況の把握及び財政基盤の安定を図るための経営分析に努めるとともに、効果的・効率的な事業展開にも即時対応することで、収支バランスを安定させ、継続的な事業運営を図る
 - ② 会計監査人や行政等の法定監査受審による適正かつ継続的な改善を担保する組織強化
 - ③ 監事監査を含む内部管理体制の充実
- (2) 人事・給与管理体制等の強化
 - ① 各部門における人事・給与システムの整備充実による管理体制の強化検討
 - ② 高齢者部門施設長評価の継続実施
- (3) 業務の効率化等に向けた体制の検討
 - ① 高齢者施設を中心としたTV会議システム・勤怠管理システムの導入による業務の効率化
 - ② 法人ネットワークのクラウド化による各部門業務の効率化の追求
 - ③ 障がい部門におけるISO9001システムの導入(令和2年4月キックオフ)
- (4) 適正な情報開示による経営の透明性の確保
 - ① ホームページによる情報開示(現況報告書・総括表、法人全体の事業報告・事業計画、財産目録、監査報告書、予算書・決算書、地域貢献活動状況等の各種活動状況等)
 - ② 法人広報誌「ききょう」の発行(年3回)による法人情報の公開(事業報告・事業計画、予算・決算、地域貢献活動状況等の各種活動状況、顧客満足度調査結果の公表)
 - ③ 第三者評価受審結果の開示(各施設のホームページ等から結果公表)
 - ④ 経営情報開示システムを利用し以下の事項について情報開示(法人概要、公益的取り組み等の実施状況、財務情報報告)
 - ⑤ その他、各種行政等からの経営実態等のアンケート調査協力等
- (5) 法人本部体制の強化
 - ① 人員配置等の継続的見直し(副理事長職の新設)
 - ② 改正社会福祉法に則り、持続可能な取組を伴う体制整備として、「経営組織のガバナンスの強化」「事業運営の透明性の向上」「財務規律の強化」に取り組むことにより、ご利用者や地域の人々に対する社会福祉事業を展開する主体としての説明責任を果たし、地域に貢献できる法人の在り方を追求する
- (6) 新規事業等
 - ① 認定こども園における1号認定子どもの受入れに当たる体制整備
 - ② サンヒルズ紫豊館の浴室等の大規模改修
 - ③ (仮称)ライフ・ステージ 夢咲の新規開設に向けた各種協議準備
 - ④ 障がい福祉事業の拡大に伴い、障がい施設経営方針を新規制定

2. 福祉サービスの向上に向けた活動

- (1) 法人理念の周知の徹底(理念等を冊子化した「和顔愛語」の全職員への周知)
- (2) 地域の福祉ニーズに対応したサービス事業の展開
 - ① 個々のご利用者の心身状態に応じた最善のサービスを提供するとともに、サービスの質の向上を常に念頭に置いた体制の整備
 - ② 変化するニーズ及びその人の可能性を伸ばす福祉サービスを展開する
- (3) 研修・マニュアル等の内容を見直し、より専門性の高いサービスを展開する
 - ① 保育部門における子どもの人権を尊重した保育の在り方の見直し・愛育園保育マニュアルの人権保育に基づき、各園での保育の在り方の見直し
- (4) サービスの外部監査(評価)の受審や内部監査の実施による評価・確認体制の整備
 - ① 実施状況や受審に向けた体制確認及び結果・改善計画等の情報整理及び検証
 - ② 防犯体制や非常災害時等の対応や事業継続に係る計画の立案検討ができる組織体制の整備
 - ③ 各園・施設の現状に応じた福祉サービス向上に向けた活動が継続できるように計画の策定状況等の確認を実施
- (5) 全部門における顧客満足度調査の実施によるニーズ、要望等の把握

3. 人財確保と育成・定着

- 人財確保及び育成体制等の充実や労働環境の整備に関する総合的・中長期的な視点での活動の展開
- (1) 人事管理や給与体系をはじめとする処遇改善に向けた諸規程を改定等整備し、労働環境改善のための活動を助長することにより人財の確保・定着につなげる
 - ① 保育部門におけるアソシエイト新設による処遇の改善及び年間休日増による労働環境の改善と組織の一体感の醸成のためのアンケート結果を踏まえた改善計画の実践
- (2) 法人として求人活動内容全般を見直し、人財の確保につなげる
 - ① 人財確保に有効なホームページ・ネットパンフレット等を活用した求人活動
 - ② 各園・施設及び法人のホームページの統合化の検討と採用情報等の掲載内容の見直し
 - ③ 各園・施設のホームページの管理体制の見直し、定期的な更新を行える体制づくり
 - ④ その他求人に関わるツール、求職者への情報提供内容の見直し
- (3) 優秀な実習生等を雇用へとつなげる取り組み
 - ① 実習生の受入れ体制の充実(受入れ期間中が法人(園・施設)のアピールの絶好の機会)
 - ② 実習生に対するアンケート調査の実施(採用へつなげるための情報収集及び実習の満足度調査)
 - ③ 実習元の学校等関係者との連携充実
- (4) 各種関係機関との関係構築
 - ① 就職あっせんについての関係構築を目的とした学校訪問
 - ② 学内フェアも含めた各種就職フェアへの参加
 - ③ 施設見学の積極的な受入及びその後の細やかなフォロー体制の構築
- (5) 次世代を担う幹部やスタッフの育成体制の強化
 - ① キャリアパス・ステップアップを具現化できる研修・組織体制の見直し
 - ② 「和顔愛語」(法人理念・経営方針・大切にしたい想い・求めるスタッフ像)の全スタッフへの周知体制の強化
 - ③ 高齢者部門における外国人労働者への受入・育成体制の整備・採用・育成・定着計画の具体化及び将来の幹部候補を念頭に置いたキャリアパスの構築

4. 法人の特性を踏まえた取り組み

- 社会福祉法人としての使命を果たすため、各施設における地域貢献事業をより活性化させ、地域における公益的な取組みのさらなる展開を図る
- (1) 地域の福祉ニーズへの対応
 - ① 全園・全施設における地域における公益的取組みの充実と更なる展開
 - ② 地域貢献事業推進担当者の設置等の体制整備による内容の充実化
 - ③ 生活困窮者にかかる支援体制への参画及び基金への拠出
大阪:「大阪しあわせネットワーク」
京都:京都地域福祉創生事業「わかプロジェクト」
- (2) 災害発生時の継続的な支援が可能となる体制として、365日24時間稼働する社会福祉施設の特性を活かし、福祉避難所の整備と物資の備蓄、スタッフの派遣・義援金の寄付等の活動を推進する
- (3) 保育部門・高齢者部門・障がい部門の種別を超えた連携による各施設の総合相談窓口設置における地域相談事業の展開
- (4) 地域の社会的援護を要する人々への支援
大阪:「協力雇用主」制度による刑務所出所者の雇用の準備フォロー

マンションに一時引っ越し

せつつ桜苑・吹田竜ヶ池ホーム

せつつ桜苑と吹田竜ヶ池ホームでは、介護福祉士養成校に通学するベトナム人留学生(1期生～3期生計8名)をアルバイトとして受け入れています。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言(4月7日)に伴い、4月21日より自転車通勤圏内の賃貸マンション(大阪・摂津市)へ一時的に引っ越ししました。

「密」避け自転車通勤 ベトナム人留学生(アルバイト)8名

成光苑では、同留学生在が大阪市内の養成校の寮で学年ごとに共同生活(8名程度)しているという密集の程度やアルバイトの通勤手段が電車移動ということなどから、感染リスクが高いと判断しました。このため、同留学生の受け入れ機関と相談、調整の結果、同機関が他の事業のため契約していた賃貸マンションを一時的に借りることが可能となり「密」を緩和することができました。

緊急事態宣言が解除(大阪府区域5月21日)され、6月1日からこれまで通りの寮に戻りました。



「どこから話してるん?」「お母さん、元気そうや」
ライブ・ステージ 舞夢
会話がはずむ
ライブ・ステージ 舞夢

「どこから話してるん?」「お母さん、元気そうや」
ライブ・ステージ 舞夢では新型コロナウイルスの感染防止のためご家族の面会を中止、その打開策として、施設とご家族を結ぶWEB(オンライン)面会を実施しました。施設とご家族所有の情報端末(PC、タブレット、スマホなど)に専用アプリをダウンロードして設定、予約制で行いました。

実は昨年11月から季節性インフルエンザなどの感染症防止のため3月末までご家族の面会を自粛要請、そこへ新型コロナウイルスの感染が世界規模で広がり急遽面会中止に切り替えたものです。
WEB面会は当初ご家族から使い方の相談や不安も寄せられましたが、操作方法を写真や図を添付するなど改善。面会時間は10分間、ご入居者はスタッフの手にあるタブレット画面を不思議そうに眺め、面会時間がくると「どこから話してるんや?」と驚きと感動の様子。ご家族からは「お母さん、元気そうや」などと久しぶりにご家族との会話を楽しまれました。

スタッフ手作りの飛沫感染防止シートを設置

玄関エントランスの天井などに吊り下げ

吹田竜ヶ池ホーム

吹田竜ヶ池ホームでは新型コロナ対策として、4月中旬から玄関エントランスと事務所内に天井から吊り下げる飛沫感染防止シートを設置しました。

同シートは、近くのホームセンターで透明ビニールシートの切り売り販売を数十メートル購入、スタッフが手作りで作成しました。事務所内には常駐の事務スタッフ以外に、直接ご入居者やご利用者とも接する施設・在宅介護スタッフが複数出入りすることから、細部にも強い意識を持って感染防止に努めています。



せつつ桜苑のコロナ対応が新聞に

ご入居者の写真付きブログや介護スタッフのご家族宛手紙活動を紹介

せつつ桜苑の新型コロナウイルス対応が朝日新聞4月16日付夕刊に紹介されました。

同紙には「保育・介護 悩む3密の現場」の見出しで学童保育や高齢者施設のコロナ対策が取り上げられていますが、3月からご入居者への面会が中止されているせつつ

～ご家族とご利用者つなぐ～

WEB面会

「どこから話してるん?」「お母さん、元気そうや」

実は昨年11月から季節性インフルエンザなどの感染症防止のため3月末までご家族の面会を自粛要請、そこへ新型コロナウイルスの感染が世界規模で広がり急遽面会中止に切り替えたものです。

吹田竜ヶ池ホームでも地域交流スペースのガラス越しに



吹田竜ヶ池ホームでは、ご入居者のご家族面会を5月中旬まで中止していましたが、同月30日から予約制で情報端末(PC、タブレット、スマホなど)を活用したWEB(オンライン)面会ができるようになりました。直接の面会が当面中止ですが、地域交流スペース(F)のガラス越しにWEB面会される姿が見られ、久しぶりのご家族との会話に笑顔が広がりました。

桜苑では、ご入居者のご家族の同意を得て、施設HPブログでご入居者の日頃の様子を写真付きで掲載していることや、担当の介護スタッフがご家族宛に手紙を出すなど工夫している介護現場の姿が紹介されました。

ご家族にとっては、ご入居者を気遣う不安は尽きないと思います。緊急事態宣言は解除されましたが、ご家族の面会中止は継続中(6月20日現在)。ご家族の思いに応え、ご入居者が元気に過ごされている様子を様々な手段でお伝えたいと考えています。

令和元年度 事業報告

成長をより確実にすすめるため、法人・施設が掲げた事業はほぼ計画通り実施した

社会福祉法人 成光苑では、社会福祉法人としての役割と責務を果たすべく、確実、効果的かつ適正な法人運営を行うことにより、安定した事業経営を目指すとともに、公益性の確保と提供する福祉サービスの質の向上に努め、地域における公益的な取組に繋げていくこととする。

令和元年度は、これらの事を念頭に置き、今後のさらなる成長をより確実なものとするため、成長戦略としての基本的な考え方・視点に基づき、組織体制のあり方や事業展開等について、法人・施設(保育部門・高齢者部門・障がい部門)において、実行すべき計画として予定した事業は、ほぼ計画どおり実施した。

1. 確実、効果的かつ適正な事業経営

- (1) 財務管理の体制強化(経営状況の把握、分析)
 - ① 法人全体の事業の経営状況の把握及び財政基盤の安定を図るための経営分析(高齢者部門においては経営企画会議を年7回実施)
 - ② 会計監査人や行政などの法定監査受審による、適正かつ継続的な組織強化
 - ③ 内部管理体制の見直しとして会計監査人との連携による監査の精度向上
- (2) 人事・給与管理体制等の強化
 - ① 全部門における人事・給与システムを整備(人事・給与に関する情報処理の高度化)
 - ② 高齢者部門施設長評価の継続実施
- (3) 業務の効率化に向けた体制の検討
 - ① 勤怠管理システムの導入、次年度より運用開始
 - ② 法人ネットワークのクラウド化による各部門業務の効率化の追求
 - ③ 高齢者部門を中心としたTV会議システム等の導入検討
- (4) 適正な情報開示による経営の透明性の確保
 - ① ホームページ・法人広報誌「ききょう」の発行(年3回)による法人情報の公開
 - ② 経営情報開示システムを利用した情報開示
 - ③ 第三者評価受審及び結果の開示(各施設のホームページ等から結果公表)
- (5) 法人本部体制の強化
 - ① 法人本部体制の充実のための人事(副理事長職の新設)の検討
- (6) 老朽改築・新規事業展開等
 - ① サンヒルズ紫豊館(浴室等)、せつつ桜苑(空調設備)の大規模修繕
 - ② ライフ・ステージ夢咲の新築工事に係る各種手続き
 - ③ 障がい児相談支援事業を新規開設
- (7) 日本経営品質賞の考え方に基づく経営品質向上活動の展開
 - ① 公益財団法人日本生産性本部が実施する経営デザイン認証(ランクアップ認証)を取得
 - ② 法人の現状(強み・弱みの抽出等)を把握し、改善に向けた活動計画の立案
- (8) ISO9001システムの適用範囲の拡大(障がい部門等)に向けた体制整備
- (9) 保育無償化及び消費税増税に伴う食材料費・諸経費等の見直し
- (10) 2020年度認定こども園における1号認定子どもの受入に係る許可の申請

2. 福祉サービスの向上に向けた活動

- (1) 法人理念の周知の徹底(理念等を冊子化した「和顔愛語」の全職員への周知)
- (2) 地域の福祉ニーズに対応したサービス事業の展開
 - ① 高齢者部門における日常生活圏の65歳以上の高齢者を対象として施設に期待すること等現状の聞き取り調査を実施(179名からの回答)
- (3) 顧客満足度調査の実施
 - ① 高齢者部門において、スタッフの対応等について満足度調査を実施(1477名に配布1174名からの回答)
 - ② 保育部門において保育サービスに関連する事項について調査を実施(全園・全世帯を対象に実施(763世帯に配布、411世帯から回答))
- (3) 各種マニュアル等の内容を見直し、より専門性の高いサービスを展開する
 - ① 新型コロナウイルス感染症予防のための各種マニュアルの見直し
 - ② 個人情報保護規程の改訂に向けた検討
 - ③ 防犯や非常災害時等の対応や事業継続に係る計画の立案及び組織体制の整備
 - ④ 保育部門における散歩経路の安全確認及びお散歩マップの作成等の安全管理体制の強化
- (4) サービスの外部監査(評価)の受審や内部監査の実施による評価・確認体制の整備
 - ① サービスの実施状況や受審体制の確認を行い、その結果に関する改善計画等の情報整理及び検証を実施した。
 - ③ 各園・施設の現状の体制に応じた計画の策定状況等の確認を実施した。
- (5) 各関連機関と連携したサービス提供
 - 法人内各施設(介護・保育)及びその他外部関連機関と連携した総合的サービスの提供

3. 人材確保と育成・定着

人材確保及び育成体制等の充実や労働環境の整備に関する総合的・中長期的な視点での活動の展開

<人材確保活動結果>

○採用者数
(平成31年4月1日～令和2年3月31日の新規及び復職等の直接雇用。一般は新卒以外の採用者)

	四大卒	短大・専門卒	高卒	一般	合計
保育部門	6	5	0	2	13
高齢者部門	0	4	0	90	94
障がい部門	0	0	0	4	4
合計	6	9	0	96	111

- (1) 処遇・労働環境の改善
 - ① 人事管理や給与体系をはじめとする処遇改善に向けた体制を整備(高齢者・障がい部門・特定処遇改善の支給、保育・処遇改善手当の金額の見直し等)
 - ② 部門別に離職率の算出(4/2～3/31離職者÷4/1職員数)。高齢者・障がい部門は、前年度比-0.4%、保育部門は、前年度比+3.2%。
 - ③ 保育部門におけるアシエント職の新設・勤務時間休日数改定に向けた検討
 - ④ 同一労働同一賃金に対応した業務の見直し
- (2) 求人活動内容全般を見直し
 - ① 人材確保に有効なホームページ・パンフレット等を活用した求人活動

4. 法人の特性を踏まえた取り組み

- (1) 地域の福祉ニーズへの対応
 - ① 全園・全施設における地域公益活動の充実、更なる展開
 - ② 地域貢献事業推進担当者の設置等の体制整備による内容の充実化
- (2) 社会的援護を必要とする人々への支援
 - ① 生活困窮者への参画及び基金への拠出
大阪：「大阪しあわせネットワーク」(高齢者・保育・障がい全部門が参画)
京都：京都地域福祉創生事業「わかプロジェクト」
 - ② 協力雇用主として登録し、保護司等と連携できる体制の構築に向けた検討
- (3) 災害発生時の支援体制として、福祉避難所の整備と物資の備蓄、スタッフの派遣・義援金の寄付等の活動の推進
 - ① 令和元年台風15・19号に係る義援金を各部門の関係団体に寄付
- (4) 各施設の総合相談窓口設置における地域相談事業の展開
 - ① 相談窓口機能の強化として、新たにCSWを養成し、大阪全施設にCSW・地域貢献支援員を配置

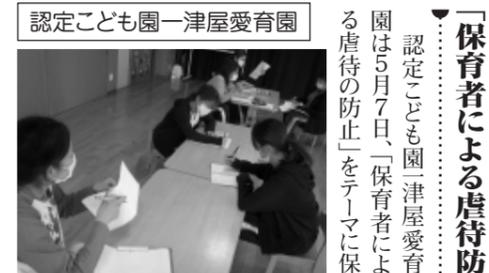


「リズム・わらべうた研修」改めてみんなで学習しよう!

くろみ愛育園・くろみ小規模保育園は5月16日、先輩保育士がチューター(指導・教育・訓練を行う新任職員指導体制)となり「リズム・わらべうた研修」を実施、計16名が参加しました。複数の新任スタッフを迎え、改めて全スタッフで保育の質の向上を目指すのがねらいです。

両園は地域の保育ニーズに応える「乳児保育園」として、日々の保育活動でリズムやわらべうた遊びを大切にしていますが、「改めてみんなで学習しよう!」というのが研修テーマ。新型コロナウイルス対策としてマスク着用やアルコール手指消毒など緊張した空気で始まりましたが、新任スタッフと先輩との意見交換は必ずみコミュニケーションも深めることができました。

「保育者による虐待防止」をテーマに園内研修



認定こども園 津屋愛育園は5月7日、「保育者による虐待の防止」をテーマに保育者25名が参加し園内研修を実施しました。児童虐待防止対策の強化を図るため、児童福祉法の一部改正や就業規則の禁止事項、内部通報規程などについて確認。そのうえで実際の保育者による体罰事例から「なぜ体罰が行われたか」について考察、グループワークでは様々な意見が飛び交いました。

保育部門幹部研修会

成光苑保育部門の幹部研修が高岡園士理事長を講師に行われました。今年度は千里丘愛育園創業以来、法人設立70周年を迎えますが、女性の就労支援などの目標を掲げた原点到ち返り保育者として、保育施設の幹部としての役割を改めて認識する機会となりました。

同研修は、北摂エリア5ヶ園(4月24日、5月1日)、大阪市内エリア3ヶ園(5月30日)と各エリアに分かれて行われ、高岡理事長は、これまでの歩みを振り返りながら「自園の子どもたちや保護者からの信頼を得るためのオンラインワン、スタッフが働きやすい職場とターゲットとなったようです。」



法人設立70周年を迎え原点に立ち返る

「コロナ禍が教えてくれた保育士の役割 子どもの面が見えいんです」



「自分のこんなところが 仕事に生かされていると感じますか?」幼い頃から習い事などで自分より小さい子どもたちの面倒をよくみたものです。自分では自然な行動でしたが、触れ合う楽しさを知りました。保育士となった今、子どもの目線に合わせ向き合えることができたのは当時の経験もあると思います。

「学生のみなさんにメッセージ」新型コロナウイルスの影響で異例の保育士年目となりましたが、大好きな子どもたちの純粋な笑顔は唯一無二の存在です。「コロナ禍防止のため登園自粛中も、社会を維持する人たち(医療従事者など)の子どもを受け入れ、保護者から「大変な時期に保育をしてください」とあってあり、保育士としての役割として、仕事と育児の両立支援を理解する貴重な機会となりました。毎日が新しい発見の連続ですが、年間で著しく成長する子どもたちと共に私も成長していきたいと思えます。

先輩からのメッセージ

坂根 里奈 ライフ・ステージ 舞夢 2020年度入社



「イイ笑顔やなあー」の言葉が嬉しくて何でも相談しやすい職場環境に安心

「自分のこんなところが 仕事に生かされていると感じますか?」「ねえちゃん、今日もイイ笑顔やなあ」といふ人居者がよく言葉をかけてくださいます。「いつも笑顔だね」といふ学生時代に友人からよく言われたことを思い出します。「人居者との信頼関係が大切な介護職として「イイ笑顔」といふ言葉はとても嬉しのです。これから笑顔忘れずに接していきたいと思えます。

「学生のみなさんにメッセージ」初めての就職(新卒)なので正直、職場の人間関係がうまく築けるか不安でしたが、事前アルバイト入社で「緊張せんていよいよ」新しい環境に慣れるの大変やろと先輩のみなさんからの声掛けや気遣いに緊張も徐々にほぐれました。何でも相談しやすい職場環境なので安心して仕事に取り組みすることができました。頼りになる先輩方を目標に頑張りたいと思えます。

専門性を高める「ファーストステージ研修II」

緊張のなかステップアップめざす

高齢者部門京都エリアは6月24、25日の2日間にわたりサンヒルズ紫豊館で「ファーストステージ研修II」を実施。4月の「ファーストステージ研修I」のステップアップ研修で9名が受講しました。新型コロナウイルス対策として、こまめな換気、マスクフェイスシールド着用、ソーシャルディスタンスを保ちながらの少人数制で、講師陣はサンヒルズ紫豊館スタッフが担当。新卒者には社



高齢者部門の新人スタッフを対象(19名)にした「ファーストステージ研修I」(写真)が4月1、2の両日、せつづ桜苑を会場に実施されました。緊急事態宣言直前の緊張が高まるなか、会場では「3密」を避ける新型コロナウイルス対策が徹底されました。

同研修は座学中心に、組織の原則、コミュニケーション力、ビジネスマナーなどを講義、新型コロナウイルスの脅威を目の当たりにしつつ、福祉施設の役割の重要性について身をもって感じる貴重な研修になったことと思えます。

介護技能実習評価試験(初級)に全員合格

岩戸ホームとサンヒルズ紫豊館に在籍するベトナム人技能実習生(計6名)は、2月と3月の介護技能実習評価試験初級(※注)を受験し見事合格しました(写真)。日々の実習活動で、課題を想定した介護の基礎技術を実践し、介助の注意すべき点や適切な手順を身につけた成果が表れました。実習生らは入職当初、言葉の壁もあり、ご利用者と接する中で戸惑いや不安を抱えていたようだが、実習指導者を中心にベトナム人実習生が積極的に促し、疑問点はその日のうちに解決、勇気をもって意見を発信するよう指導を行いました。この結果、実習生らは予想以上の速さで日本の生活にも慣れ、実習に対して積極性が増し成長も際立つようになりました。入職して約1年。今後も施

新人スタッフ対象の「ファーストステージ研修I」

コロナ禍を受け、福祉施設の役割の重要性学ぶ

同研修は座学中心に、組織の原則、コミュニケーション力、ビジネスマナーなどを講義、新型コロナウイルスの脅威を目の当たりにしつつ、福祉施設の役割の重要性について身をもって感じる貴重な研修になったことと思えます。



ベトナム人技能実習生6名



吹田市が介護職員研修に補助金 吹田竜ヶ池ホームから5名申請、全員交付

吹田竜ヶ池ホームでは「令和2年度吹田市介護資格取得支援事業補助金」を活用し、相談のあった介護スタッフ5名の申請を行い、全員の交付が決定しました。この補助金制度は吹田市内の介護サービス事業者(居宅介護支援事業所・福祉用具貸与事業所など除く)を対象に、介護スタッフなどの資格取得に必要な受講経費を負担する同事業者に補助金を支給するもので、施設内の掲示板に告知したところ、5名の介護スタッフから「スキルアップ(介護福祉士実務者研修)を望む」と積極的な相談が寄せられ、全員の申請を行いました。同補助金の申請は今年度末まで。無資格者などのスタッフの励みになると考えられます。

令和2年度研修計画(高齢者・障がい者)

新卒者の採用が減少する中、指導者に求められる役割が変化してきており、研修内容の見直しを図るとともに、人事システムガイドの基本的な担当職務・職務責任の要件に基づき、各階層に求められるスキルの習得及びスタッフの就業意欲の向上を目指す。

Table with 3 columns: 研修名, 対象者・期間, 目的・内容. Lists training programs for various staff levels and their objectives.

令和2年度研修計画(保育)

キャリアアップに係る職階を踏まえ、昨年度に引き続き、特に次世代を担う中堅層が中心となった育成体制を構築。研修テーマを絞り、保育の原点に立ち返った内容を主とした研修計画を立案。

Table with 3 columns: 研修名, 対象者・回数, 内容. Lists training programs for childcare staff and their content.

令和元年度研修報告(高齢者・障がい)

Table with 3 columns: 研修名, 参加者, 担当者. Reports on training activities for elderly and disabled staff.

令和元年度研修報告(保育)

Table with 3 columns: 研修名, 参加者, 担当者. Reports on training activities for childcare staff.